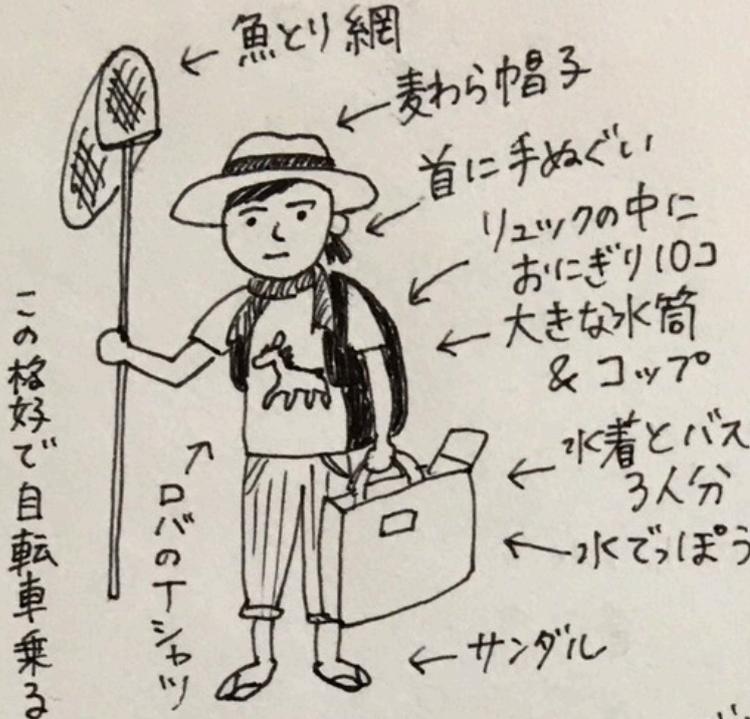


本日のロバ子フアッション!!



子どもたちの夏休みも終盤へと向かいつつあります。我が家は3人の子らが毎日毎日それはそれは騒がしいや、にぎやかでして私の側の脳内スイッチが自然と切れて逆に仕事や書きものや聖書通読に集中

できる...という謎の現象

が起きることもあります。しかしやはり、夏休みですので、楽しい思い出作りもしてあげたいわけで、地元や隣の市の川へと遊びに行ったり、車で都内ながらも緑豊かな溪谷へ川遊びに行ったり...しています。水生動物なのかな?というくらい、止めなければ何時間でも川の中で遊び続ける子どもたち...。今朝も私は上のような格好で地元の川へと向かったのです。私が子どものときも母親はあれこれ考えてはあちこち連れ出してくれてたんだらうなあ、とふと思うのです。しかし、今の息子らのようにもりもり外遊び!!というタイプではなかったのだから、そんな思い出はあまりないのですが、自分の過ごしてきた夏休みの風景とはまた全然違う風景を楽しむのは感謝なことかもしれません。コロナ禍で今年の夏もあまり遠出できずでしたが、縄文時代の遺跡で、堅穴式住居の中で縄文式土器を作る、という体験をしてきましたよ! 土と木だけで建てられた超天然素材のうす暗い空間で土をこねて土器を作る...というその時間そのものがかたなりスペシャルに楽しい時間でした。そして、子どもそれぞれ同じ大きさ、形の土台を作る戸斤からスタートしたのに、出来上がりは三者三様、全く違う大きさ、見た目の器となり、本当に面白いなあ!と思いました。聖書で言う「土の器」を思いながら、神様から与えられた個性、賜物を大切にしてほしいなあと思うのです。

まきばでひとやすみ

